

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の予算額の推移(過去5年)

施策名	21年度 予算	22年度 予算	23年度 予算	24年度 予算 (①)	25年度 予算案 (②)	対前年度		施策の説明	備考
						増▲減額 ③=②-①	伸率 ③/①		
宇宙航空研究開発機構(JAXA)	192,450	180,005	172,600	172,010	162,476	▲ 9,535	(▲ 5.5%)		
JAXA 運営費交付金(自己収入額控除後)	139,703	130,392	122,426	119,758	109,769	▲ 9,990	(▲ 8.3%)		
1. 基幹システム関連経費	36,397	24,036	22,888	24,109	24,839	729	(3.0%)		
イプシロンロケット	214	2,000	3,790	5,610	8,200	2,590	(46.2%)	イプシロンロケットの開発と打上げ関連設備の整備	
宇宙ステーション補給システムへの回収機能の付加(HTV-R)	-	-	50	50	50	0	(0.0%)	HTVに回収機能を付加し、有人宇宙活動につながる基礎技術実証	
基幹ロケット高度化	-	412	1,407	589	617	28	(4.7%)	H-II Aロケット能力向上	
LNG推進系飛行実証プロジェクト(GXロケット) →基幹システムの維持に移行(22'~)	10,700	-	-	-	-	-	-		
H-II Bロケット	8,574	1,386	-	-	-	-	-	平成21年9月試験機打上、FY22開発終了	
基幹システムの維持 等	16,910	20,239	17,641	17,861	15,972	▲ 1,889	(▲ 10.6%)	輸送系技術基盤開発、打上げ射場設備等の維持運用、地上局の維持運用、ロケット製作用関連設備等の維持運用、追跡ネットワーク維持、環境試験設備維持 等	
2. 宇宙環境利用関連経費	4,500	4,780	4,768	4,621	4,147	▲ 474	(▲ 10.3%)	日本実験棟「きぼう」を利用した宇宙実験の実施や宇宙医学研究等の推進、宇宙環境利用研究の推進、第2期利用に向けた実験装置開発・実験準備 等	
3. 衛星利用推進関連経費	20,391	19,941	16,603	12,686	6,242	▲ 6,444	(▲ 50.8%)		
陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の衛星開発 →補助金事業に変更(25'~)	1,000	1,986	6,137	3,581	-	▲ 3,581	(▲ 100.0%)		
陸域観測技術衛星3号(ALOS-3)の衛星開発 →補助金事業に変更(25'~)	100	100	98	98	-	▲ 98	(▲ 100.0%)		
次世代情報通信衛星	-	-	-	-	50	50	-	新規事業(JAXA)、総務省と協力事業	
データ中継機能の継続確保	-	99	309	309	50	▲ 259	(▲ 83.8%)	ALOS-2のデータ中継機能の構築	
軌道上衛星の運用(利用衛星、交付金分) (DRTS、ETS-8、WINDS等。FY23まではALOSを含む (運用停止)。)	5,345	5,109	4,153	1,821	1,336	▲ 486	(▲ 26.7%)	通信衛星の運用	
準天頂衛星	8,839	7,837	1,288	1,243	850	▲ 393	(▲ 31.6%)	準天頂衛星初号機「みちびき」の開発、運用 平成22年9月打上	
利用推進関連設備の維持 等	4,584	4,288	4,236	4,649	3,847	▲ 802	(▲ 17.2%)	地球観測データ総合管理・提供システムの運用・更新及び地球観測データ通信局(鳩山)の維持・運営、地球観測データ利用促進関連経費 等	
災害観測・監視システムの整備 等(次世代情報通信衛星の研究)	-	-	-	50	-	▲ 50	(▲ 100.0%)		

施策名	21年度 予算	22年度 予算	23年度 予算	24年度 予算 (①)	25年度 予算案 (②)	対前年度		施策の説明	備考
						増▲減額 ③=②-①	伸率 ③/①		
災害観測・監視システムの整備 等	523	521	381	933	109	▲ 824	(▲ 88.3%)		

施策名	21年度 予算	22年度 予算	23年度 予算	24年度 予算 (①)	25年度 予算案 (②)	対前年度		施策の説明	備考
						増▲減額 ③=②-①	伸率 ③/①		
4. 技術研究関連経費	12,953	13,582	11,615	11,588	10,660	▲ 928	(▲ 8.0%)		
宇宙太陽光発電技術の研究	271	350	150	300	300	0	(0.0%)	宇宙太陽光発電システム(SSPS)の実用化に向けた見通しをつける為の地上技術実証	
スペースデブリ対策技術の研究	358	1,410	358	378	350	▲ 28	(▲ 7.4%)	スペースデブリ対策技術の研究	
将来研究(先行・萌芽、将来輸送系、共通基盤技術)	2,342	2,233	1,788	1,655	1,559	▲ 96	(▲ 5.8%)	共通基盤技術等の研究開発	
基礎・基盤施設維持運営費	5,398	5,163	5,120	5,085	4,788	▲ 297	(▲ 5.8%)	三鷹・調布地区、筑波地区、角田地区	
情報システム関連	4,585	4,426	4,200	4,171	3,663	▲ 507	(▲ 12.2%)	スパコン等の維持	
5. 航空関連経費	3,583	3,539	3,507	3,466	3,315	▲ 151	(▲ 4.4%)		
6. 宇宙科学関連経費	17,083	20,291	14,164	18,220	14,246	▲ 3,974	(▲ 21.8%)		
水星探査機Bepi Colombo	2,010	1,810	2,993	2,993	644	▲ 2,349	(▲ 78.5%)	水星の内部・表層・大気・磁気圏にわたる総合的観測	
小型科学衛星シリーズ	200	400	463	3,744	2,601	▲ 1,143	(▲ 30.5%)	低コスト・短納期かつ科学ミッションの多様性に対応可能な小型衛星を開発	
月周回衛星(SELENE)	772	498	201	-	-	-	-	平成19年9月打上、平成21年6月運用停止	
第24号科学衛星(PLANET-C)	6,063	9,709	-	-	-	-	-	平成22年5月打上	
第25号科学衛星(ASTRO-G)	817	-	-	-	-	-	-	平成23年12月宇宙開発委員会にて開発中止が決定	
第26号科学衛星(ASTRO-H)	25	100	3,008	3,670	3,670	0	(0.0%)	X線天文衛星「ASTRO-H」の開発	
軌道上衛星の運用(科学衛星)	1,548	1,548	1,699	1,667	1,651	▲ 16	(▲ 0.9%)	科学衛星や探査機等の運用	
学術研究・実験 等	3,491	4,159	3,574	3,501	3,565	64	(1.8%)		
宇宙科学施設維持	2,157	2,066	2,227	2,645	2,115	▲ 530	(▲ 20.1%)	研究観測設備維持、相模原キャンパス施設維持、科学衛星データ利用経費 等	
7. 月・惑星探査関連経費	816	1,726	3,576	3,536	10,784	7,247	(204.9%)		
小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	-	30	2,987	2,987	10,259	7,272	(243.5%)		
月・探査ミッション研究・推進	816	1,696	589	549	524	▲ 25	(▲ 4.6%)		
8. 信頼性向上プログラム	9,367	8,342	11,719	8,837	6,368	▲ 2,468	(▲ 27.9%)	ロケット・衛星に係る総合的技術力を継続的に発展・維持向上させるための取組	
9. 産業振興基盤の強化	2,164	2,158	2,088	2,075	1,974	▲ 101	(▲ 4.9%)		
10. 国際協力の推進	752	752	757	742	646	▲ 95	(▲ 12.9%)		
11. 事業推進関連経費	9,044	8,895	8,738	8,255	7,033	▲ 1,222	(▲ 14.8%)		
12. 人件費・間接経費等	22,653	22,348	22,003	21,623	19,514	▲ 2,109	(▲ 9.8%)	自己収入を含む	

施策名	21年度 予算	22年度 予算	23年度 予算	24年度 予算 (①)	25年度 予算案 (②)	対前年度		施策の説明	備考
						増▲減額 ③=②-①	伸率 ③/①		
JAXA 補助金	52,747	49,613	50,174	52,252	52,707	455	(0.9%)		
1. 宇宙ステーション運用等	35,700	35,657	30,009	34,149	33,863	▲ 286	(▲ 0.8%)		
日本実験棟(JEM)運用等	10,871	10,530	10,225	9,765	9,479	▲ 286	(▲ 2.9%)	日本実験棟「きぼう」(JEM)の運用を推進	
宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	24,829	25,127	19,784	24,384	24,384	0	(0.0%)	宇宙ステーション補給機(HTV)を年間1機打ち上げる	
2. 施設整備費	6,242	6,328	7,532	7,096	2,174	▲ 4,922	(▲ 69.4%)	筑波宇宙センター用地取得、セキュリティの強化、勝浦追跡管制局改修、種子島大崎発電所建設、筑波宇宙センター施設老朽化更新(受変電設備、空調等)等	
3. 全球地球観測システム構築の推進	10,805	7,627	12,633	11,007	16,669	5,662	(51.4%)		
温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	-	-	-	-	194	194	-		
気候変動観測衛星「GCOM-C」	1,326	1,030	2,843	2,843	2,343	▲ 500	(▲ 17.6%)	多波長光学放射計(SGLI)により、雲・エアロゾル、海色、植生、積雪分布等の連続観測	
全球降水観測/二周波降水レーダ(GPM/DPR)	1,621	1,621	1,236	3,624	5,800	2,177	(60.1%)	熱帯降雨観測衛星(TRMM)後継機開発	
雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイリングレーダ(EarthCARE/CPR)	370	950	1,910	2,062	1,282	▲ 779	(▲ 37.8%)	気象予報、気候変動予測の精度向上のためのCPR(雲プロファイリングレーダ)と地上システムの開発	
水循環変動観測衛星(GCOM-W)	5,874	2,591	5,417	-	-	-	-	平成24年5月打上	
陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の衛星開発 (FY24以前は運営費交付金)	-	-	-	-	4,364	4,364	-	ALOS-2衛星システムの開発、関連地上設備の整備	
軌道上衛星の運用(利用衛星、補助金分) (GOSAT、GCOM-W、ALOS)	1,614	1,436	1,227	2,478	2,685	206	(8.3%)	地球観測衛星の運用	